

(株)サン・テンポラリー

岐阜市・人材派遣業

平成30年度
認定

子育て世代の女性を中心とした派遣事業に従事。従業員用に託児施設を開設し、利用料を負担するなど、子育て中も安心して働ける環境づくりに取り組む。業務を複数名で担当するワークシェアを推進し、派遣先にも新たな働き方として提案している。

従業員数／男性3名 女性43名 計46名 ※平成31年1月現在

新たな働き方の提案で女性活躍推進

働く母親を支援するサン・テンポラリーでは、2006年に学校法人渡辺学園と共同で「チャイルドデイケアセンターNAGOMI」を開設し、2017年には企業主導型託児施設「サン・キッズ」を開設。

サン・キッズでは、従業員や派遣社員が利用する場合、託児利用料の4割を会社が負担。現在3名が利用するほか、地域枠として他企業に

勤める社員の子どもを受け入れも
行っている。

地域における女性活躍を広めるための求人サイト「しゅふキャリア」を運営。現在300名の登録があり、保育士の資格を持つ女性など、多数の人材が地元企業で働く。子育て中の女性は、時間の制約があり、短時間勤務を望むケースが多いことから、1名のフルタイム勤務ではなく、シフト管理で複数名の短時間勤務を組み合わせる、ワークシェアを受け入れ企業に提案。結果、トータルの人件費も抑えられ、多くの女性雇用を創出している。

社内でも、派遣登録希望者の面接などを行う営業コーディネーター職は、週3日働ける女性2名が1つの業務をシェア。営業コーディネーターを務める黒井佳代さんは、「まだ子どもが小さく、週5日働くのは難しい。2人で業務を共有し、出



企業主導型託児施設「サン・キッズ」を開設し、従業員はもちろん、地域の働く母親を支援。

勤日数を分けることで、無理なく仕事と家庭を両立できている」と、働きやすい職場環境を実感する。

そのほか本社では、社員の誕生日を日々の業務に対する感謝日とし、会社からケーキやプレゼントを贈るなど、個々の社員を大切に作る風土づくりに努める。



営業コーディネーター職は、全員が閲覧可能な日報などで作業の進捗を共有し、2名で週3日ずつ業務をシェア。